

「読書のまち 板柳」宣言文

わたしたちの町板柳の先人は、津軽平野の母なる岩木川がもたらした肥沃な大地で、営々と生産に励むとともに、心をうるおす文化活動にも積極的に取り組みました。そして、「文化の香り高い、米とりんごのまち」をきずき上げ、それを誇りにしてきました。

このかけがえのないふるさとで今を生きるわたしたちは、「日本一のりんごの里づくり」をめざしながら日々過ごしていますが、その実現のためには、先人に学び、豊かな感性や考える力、想像力などの人生をよりよく生きていく力を身につけることが求められています。

わたしたちは、それらの力をはぐくむうえで、毎日の生活の中に読書に親しむ機会を増やすことが大事であるととらえ、

1. 乳児期に絵本の世界と出会う「ブックスタート」に取り組みます。
1. 幼児期に絵本へ親しませる「読み聞かせ」に取り組みます。
1. 少年期での読書習慣をはぐくむ学校における「朝読^{あさどく}」に取り組みます。
1. 成人期に本を入手しやすい環境づくりに取り組みます。
1. 家族の絆^{きずな}をはぐくむ「家読^{うちどく}」推進に取り組みます。

わたしたちは、一人ひとりの豊かな人生とわたしたちの町の活性化実現への願いをこめ、ここに「読書のまち 板柳」を宣言します。

平成20年5月25日

板 柳 町